

報道関係者各位
プレスリリース

第二の地元で生まれる絆

～首都圏の社会人と長野県阿智村の村民が、協働で舞台作品作り～

「熱い気持ちが未来をつくる 感じるチカラが日本を育てる」をビジョンに活動する NPO 法人コモンビートは、長野県下伊那郡阿智村の村民とともに、人と人との交流から生まれる感動をもとに舞台作品作りを行う「もざいくプロジェクト 2011」を開催。来たる 2011 年 11 月 6 日(日)の村制 55 周年記念阿智祭において作品が発表されます。

<もざいくプロジェクト発足の背景>

もともと他の地域で暮らす人々の受け入れに積極的に取り組んでいた阿智村。本プロジェクトの代表・北原太志郎(30)が、他団体の企画で阿智村(当時は清内路村)を訪問した際に、地元側の受入責任者だった原和信氏と出会ったことがきっかけで、二人の交流が始まる。生まれは同じ下伊那郡(松川町)ながら、3 歳から東京で育った北原にとっては、東京で生活していることの方が日常だった。しかし、阿智村への訪問を重ね、原氏や村の人々との交流を深めるにつれ、単なる「都会人の週末田舎体験」ではない充足感や楽しさを感じるようになる。村の人が受け入れを「やってくれるから」行くのではない、自然に足を運べる第二の地元ができた感動体験を、普段は首都圏で仕事をする友人知人に語り続けていたところ、多くの人が共感し興味を持ってくれたことから、本プロジェクトを立ち上げた。

<もざいくプロジェクトとは?>

首都圏の社会人が、パートナー地域(プロジェクト受入地区になっていただいた地域)との話し合いや民泊などの“交じり合い(=深い交流)”を通じ感じたことを元に、パートナー地域の住民とともに舞台作品を作り発表する、2 ヶ月半にわたるプロジェクトです。できあがる作品も、歌や芝居、朗読など、感じたことによってもさまざまですが、ゼロから生み出す過程ゆえに、大きな達成感を得られると好評です。

単なる田舎体験ではなく、訪問する側と住民が一緒にアイデアを出し合い、地域ぐるみでゼロから作品作りに挑戦する本プロジェクトは、異なる地域の人同士が継続的につながる新しいコミュニティデザインの開発モデルとして、多くの地方メディアにも高い関心を頂いています。

今年は、首都圏のメンバー約 40 名がこのプロジェクトに参加しており、週末に長野県下伊那郡阿智村の 6 地区にメンバーが分かれて訪問しています。村民の民家での宿泊などを通じて、その地域に住む「人」の普段の生活を見聞きし体験させていただきながら、感じるままに作品作りのための素材を集めます。



民泊の様子。囲炉裏を囲んで語り合いました。



作品作りの様子。どんな表現にするか、みんなで考えます。



ツアーの様子。それぞれの地区を紹介していただきます。

もざいくプロジェクト 2011 は、阿智村制 55 周年を記念する事業として運営されており、2011 年 8 月下旬から毎月 1 回、全 3 回の阿智村訪問交流ツアーおよび毎週土日の練習を経て作品が作られます。今年で 2 回目となる本プロジェクトですが、昨年のコンビートと阿智村清内路地区のみとの交流から発展し、本年から阿智村全 6 地区にて受入の協力をいただいております。年々規模を拡大し精力的に活動しています。

作品作りは各地区の住民との出会いや体験、共同作業を通して生まれた感動を素材としており、作品作りの過程では、首都圏と阿智村という対照的な地域の人同士だけでなく、6 地区の合併が完了して 3 年目になる阿智村の地域住民同士でも、互いの魅力を知り、また自身の魅力に気付くきっかけになっているようです。人と人の情熱を掛け合わせることで情熱の火種を生み出し、日本を元気にする新たな地域間交流のモデルケースにご期待ください。

<阿智村概要>

長野県の南部に位置する、人口 7,075 人(2009 年 3 月 31 日現在)の村。会地、伍和、智里西、智里東 4 地区からなる阿智村に、2006 年 1 月浪合村、2009 年 3 月清内路村が合併し、新生阿智村がスタート。

☆☆☆参加者の声☆☆☆			
	普段はどんな人？	もざいくプロジェクトに参加した理由	参加してみて
 30代女性	東京生まれ東京育ち、東京住まいのライターです。	代表の北原さんが、阿智村が本当にいいところだと熱く語るの(笑)あとは、もともと旅が好きだったので、ただの観光ではない民泊などに惹かれました。	阿智村の人に訪ねられ、「東京ってこういうところですよ！」と、自分が一生懸命地元のことを語っていたのに驚きました。自分の地元を見直す＝地元の良いところに気づいたとき、たまたま地元が愛おしくなって、地元を良くしたいと心から思うようになりました。
 20代女性	長野で生まれ育ちました。大学卒業後、10年近く東京で仕事をしていたのですが、今は地元の村役場で働いています。	面白そうなプロジェクトがあると友達に勧められ、キャスト説明会に行ったのがきっかけです。私も長野県出身なのですが、同じ長野にこんなプロジェクトに取り組んでいる村があるというのも驚きで、どんな村が行ってみようと思って参加しました。	ただ何となく育った地元を、「生きるため」「暮らすため」の土地だと強く感じました。プロジェクトの影響ですね(笑)今は地元に戻って、地元で生きる決心をし、9月に東京から引っ越したところです。

<もざいくプロジェクトに参加するには？>

次回のもざいくプロジェクトは 2012 年 8～11 月に開催予定！「次回は参加してみたい！」と思った方は、まずは来年 6 月頃から順次開催される、キャスト説明会へと足をお運びください。説明会にご参加いただいた方を対象に、期間を設けてキャストにエントリーしていただきます。キャストが確定した暁には、パートナー地域との交流、そして作品作りを楽しみましょう！「やりたい気持ち！」が参加資格です！



【団体概要】
 団体発足：2004 年 3 月 11 日
 団体名：NPO 法人コモンビート
 プロジェクト名：もざいくプロジェクト 2011
 プロジェクト代表：北原 太志郎
 HP：<http://www.commonbeat.org/project/mosaic/top.html>

【本件に関するお問い合わせ】
 NPO 法人コモンビート
 事務局担当：安達
 TEL：03-3916-8673
 MAIL：mosaicoffice@commonbeat.org